

施設管理者（庁内）アンケートの実施結果

【本調査の公開目的】

このたび公開するアンケート結果は、現状の施設管理における運用上のボトルネックや改善ニーズを整理したものです。事業者の皆様におかれましては、本資料を踏まえ、市場性の検証や管理スキーム等について、幅広いご提案をお寄せいただきますようお願いいたします。

【アンケート概要】

市内公共施設の施設管理担当者を対象に、点検結果報告書、日常点検、予算化、施設管理全般の4項目について、現状の課題を把握するためにヒアリングを実施した。

【課題】

★点検結果報告書についての課題

- ・点検や調査により提出される報告書について、指摘事項ごとの概算費用や規模感が示されておらず、修繕に必要なコストを即時に把握できない。(68.8%)
- ・点検・調査報告書について、指摘事項の評価基準が明確ではなく、内容の優先度を適切に判断できない。(46.9%)
- ・点検・調査報告書の多くが紙媒体で保管されており、同一箇所の経年変化や劣化状況を比較するのが難しい。(40.6%)

★日常点検についての課題

- ・専門知識の不足により、異常の初期兆候を認識できていない。(75.0%)
- ・点検マニュアルや基準が統一されておらず、担当者ごとに判断がばらついている。(58.3%)

★予算化についての課題

- ・専門知識の不足により、修繕や改修方法の選択ができず予算化できていない。(68.8%)

・見積依頼時に必要となる工事内容や仕様の整理が不十分であり、業者に対して適切な条件提示や説明ができない。(46.9%)

・工事内容や設備種別に応じた適切な業者選定ができず、どの業者に見積依頼をすべきか判断できない。(43.8%)

・修繕の必要性を説明する際に、劣化状況や不具合の内容について、写真・点検データ・数値評価等の客観的資料が十分に整理されていないため説明資料が不足している。(40.6%)

★施設管理全般についての課題

・異動時において、施設の劣化状況や修繕履歴、懸案事項等の情報が体系的に整理されておらず、担当者間で十分に引き継がれていない。(84.4%)

・過去データの蓄積・分析が不十分であり、工事費や委託費の妥当性を判断する材料が不足している。(75.0%)

・各施設の点検結果や修繕履歴が体系的に整理されておらず、劣化の進行状況を横断的に把握できていない。(68.8%)

・施設ごとの改修計画や実施状況が一元管理されておらず、進捗の全体像が不明確。(43.8%)